

L G B T sの人から相談を受けたら？

同性愛の人や心と身体の性が異なる人などは、「L G B T s」「L G B T Q」などと呼ばれています。
もしあなたが、悩みごとの相談を受けたら、どうしますか？

相手の話をじっくり聴きましょう

相手はあなたを信頼しています。同時に、どんな反応があるかをとても不安に思っています。
とにかく、相手の話をじっくり聴き、「相談してくれてありがとう」など、
共感の気持ちを伝えましょう。

その上で、これからどうしたいかなど、相手の思いを聴いてみてください。



アウティングはしない

相手の性について本人の同意や了承なく、第三者に言いふらしたり、暴露したり、SNS に書き込んだりすることをアウティングといいます。

アウティングを受けた大学生が自殺したり、自傷行為に及んだケースも生じています。

どうしても、第三者に情報を伝えなければならない場合は、「伝えてよい人は誰なのか」「どの程度まで話してよいか」を必ず本人に確認しましょう。



知っていてほしいこと

何気ない一言が、L G B T sの人を傷つけてしまうことがあります。

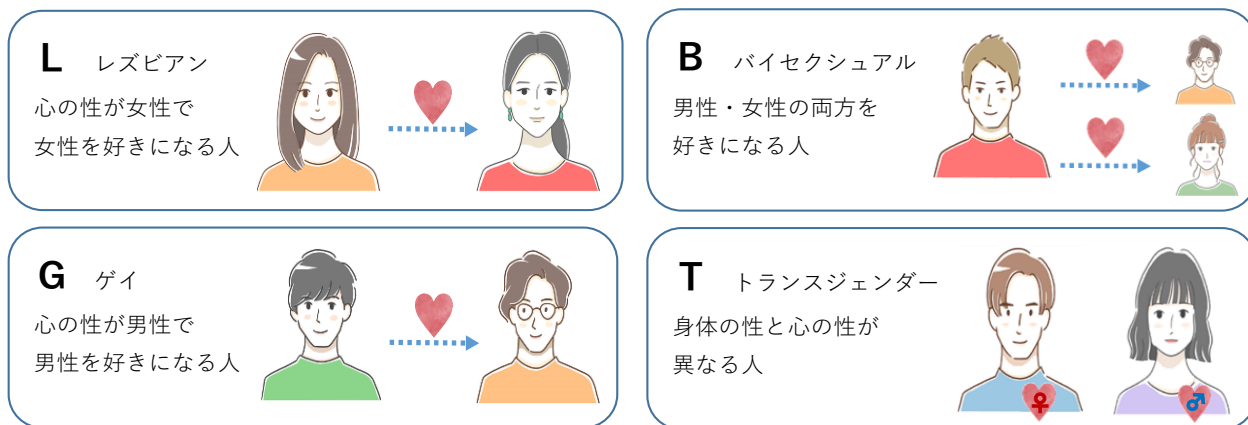
- ・「気のせいだよ、そのうち治るよ」
 - ➡ L G B T sは病気ではありません。
- ・「たとえ、あなたがL G B T sでも気にしないよ」
 - ➡ L G B T sの人に対して偏見を持っていると思われる場合があります。
- ・「彼女、彼氏いるの？」
 - ➡ 誰でも異性愛が当たり前という前提で会話をしていることになります。
- ・初対面の人に、「～くん」「～ちゃん」と呼ぶ
 - ➡ 見た目と心の性が一致していない場合があります。本人に確認しましょう。
- ・N Gワードを言う
 - ➡ 「×オネエ、×オカマ、×オナベ」、「×レズ➡〇レズビアン」、「×ホモ➡〇ゲイ」



SOGI（ソジ）とは？

Sexual Orientation（性的指向：好きになる性）と Gender Identity（性自認：心の性）の頭文字をとった略称で、すべての人の性のあり方を包括的に表す考え方です。

また、Gender Expression（性表現：身なり、服装など）を加えて「SOGIE（ソジー）」ということもあります。



※この他に、Xジェンダー（男女のいずれにも属さない人）、クエスチョニング（自分の性がわからない）など様々な性のあり方があります。

一人ひとりに個性・特徴があるように、性にも「性的指向：好きになる性」や「性自認：心の性」など様々な性のあり方があり、出生時の性と同じく、自分の意志で選択できるものではありません。

性はその人のアイデンティティを表す重要な要素の一つです。

帯広市の取り組み

① パートナーシップ制度

この制度は、婚姻関係にはないものの、継続的に共同生活を行う同性カップルなどのお二人の関係を帯広市が受け止め、公的に認める仕組みです。

法的な効力はありませんが、当事者の方々の安心感や、パートナーの方が「家族（配偶者）」として受けられるサービスの拡大を目指しています。



帯広市パートナーシップ制度

② 多様な性に関する講座

多様な性に関する講座を毎年実施しています。



多様な性に関する講座

③ 多様な性に関する職員ガイドライン

市職員を主な対象とし、多様な性に関する正しい知識と様々な場面における望ましい対応の定着を図るため、令和2年に策定しました。



多様な性に関する職員ガイドライン

問い合わせ先：帯広市 市民福祉部 地域福祉室 市民活動課 男女共同参画係

住所：帯広市西5条南7丁目1番地 電話：0155-65-4134

Eメール：danjyo@city.obihiko.hokkaido.jp